



月 日 時頃に伺いました。

人にやさしいデジタル化を進めます

2024春 第11号

# T通信

発行責任者 田中達也  
香川県三豊市詫間町詫間 3905-3



## ご挨拶

令和6年度を迎え、早いもので、2期目の議員活動も折り返しに入りました。

2月の臨時議会で議会内の役職交代があり、残り2年の任期で総務常任委員長をはじめとする新たな役職を務めることとなりました。なんだか忙しくなる一方ですが、様々な役職を引き受けることにより、議会力が強化され、ひいては市民生活の向上につながると考え、前向きに取り組んでまいります。

以下の役職を務めることになりました

- » 総務常任委員会 委員長  
総務部・政策部等を所管します
- » 議会運営委員会 副委員長  
会議を円滑に運営するために設置されています



- » 議会活性化特別委員会 委員  
開かれた議会を実現するための改革案について議論されます
- » 三豊総合病院企業団議会 議員  
観音寺市議12名、三豊市議3名で構成されています
- » 広聴会議 メンバー  
議会報告会の開催方法の検討と運営を行います



### 瀬戸内暮らしの大学 「政治のクラス」

仁尾町にある瀬戸内暮らしの大学さんが開催して下さった「政治のクラス」で、会派「桜の木」の湯口と田中が講師を務めました。

自治体の政治について市民の皆様にご存知いただき、良い機会になりました。



こんな活動も  
して  
ます  
!



### 政治の団らん

仁尾町のカフェ・ド・フロさんが主催する「団欒」というイベントに、「政治」のカテゴリが加わりました。田中・湯口と、美味しい料理をいただきながら、政治について語り合います。定期的で開催していますので、興味のある方はお問い合わせください。



# 副議長選挙に挑戦しました

2期目の議員活動も2年が経過し、2月に行われた臨時議会において、議長をはじめとする議会内での役職が改選されました。私が、なぜ副議長になろうとしたのかについて、議員の前で所信を述べる機会が与えられるのですが、市民の皆様にはご覧いただけない部分ですので、ここに私の所信表明の全文を掲載いたします。

## 所信表明全文

副議長選挙における私へのご支持を皆様にお願ひするにあたり、議会が直面する課題と、副議長職に対する私の考えについて述べさせていただきます。

まず、議会改革についてです。加速するデジタル化の波、政治の透明化を求める世論、そして人口減少・予算縮小の局面における適切な議案審査、これらに対応するため、議会活性化特別委員会でさまざまな取り組みを進めてきました。方向性が決まったものもあれば、まだ検討中のものも多くあり、速やかな対応が求められます。

また、先月行われた議員研修会の中で、講師の高沖先生から「議会は議事機関であり、単に議決するのではなく、熟議することが求められる」とのご指摘があり、「積極的に修正案を示し、市長と議会が政策で競争しなければならぬ」というご指導に、強く共感しました。

しかしそのためには、決算認定から予算審査までの流れに大胆な工夫が必要と考えます。

これらを推し進めていくためには、議長の強力なリーダーシップが必要であり、それを補佐する副議長にも、強い使命感と行動力が求められます。次に、広聴会議についてです。

広聴（市民の声を聞く）ということは、議会にとって最も重要な機能の一つだと考えます。

広聴会議は、市民の声を聞き市政への要請に繋げる目的で実施する「議会報告会」のあり方を検討する、重要な役割を担っています。その座長は副議長が務めることが慣例となっており、極めて重要なポジションといえます。

私はこれまで、「映像による議会報告会」や「Zoomを活用したオンライン議会報告会」など、時代の要請に応える取り組みを提案した上で、専門知識を活かしてその実現に貢献してまいりました。

今後はさらに工夫を重ねるとともに、市民から議長に対して要請があった「中高生を対象とした広聴の取組み」についても検討を進める必要があると考えています。

議会改革は待ったなしです。このような中で副議長が果たすべき責は、非常に重いと考えます。

若輩の身でありますので、諸先輩議員や同僚議員の皆様にご指導を賜りながら、覚悟を持って取り組んでまいりますので、皆様方には是非、只今申し上げたような各種課題に、候補者が対応できるか否かという点についてご判断いただき、私へのご支持を賜りますようお願いを申し上げます。所信表明といたします。

## 結果は？

### 11対11からのくじ引き



実は直前に行われた議長選挙も同数からのくじ引きで決しており、お互い組織票であることはわかりますよね。「副議長職は議長選の交渉材料」と認識している議員が多く、役割として重視されていないのに、副議長を経験しないと議長になれないという不文律だけが力を持っていると感じます。



37分から議選挙、続いて副議長選挙

## 挑戦を振り返って

今回の結果を受けて、議会改革に対する思いはさらに強いものとなりました。「候補者が対応できるか否か」という言葉で表したとおり、それぞれの役職者が力を発揮するか否かで、議会の性能は大きく変わります。派閥の力関係によるものではなく、最適な人事がなされるようにしていくことが、強い議会を作るための重要なポイントであると、私は考えています。次の機会がいただけるよう、さらに精進してまいります。





令和  
6年度

# 当初予算案の修正に挑戦しました

## 当初予算審査とは？

年度の当初予算（令和6年度であれば374億5千万円）全体に対して賛成か反対かを諮るものです。部分的に変えたい場合は、「修正案」を提出した上で先に可決し、その後残りの部分を可決するという手段を取ります。

## 何を修正したかったの？

まちづくり推進隊（7団体）に対する活動交付金の大幅減額に問題がありました。

減額幅を抑え、昨年度予算額から5%縮小した額に修正（提示された予算案より962万3千円増額）するよう求めました。増額分は、予備費（5千万円）を減額するものとなりました。



箱裏マルシェ

## 何が問題だったの？

昨年度予算額から、平均16%程度、多いところでは22%も減額されており、事業に支障が出ること。

4月からの年度開始に対して、減額の説明がされたのが2月27日であり、あまりにも急すぎることに。

※減額の根拠とした過去の管理費は、事務局員給与が増える前のものであったこと。

市が「今後の推進隊のあり方を示すのは、今年の夏」という説明をしたことから、減額の前にあり方を示すべきであること。



※管理費 NPO法人の事業を管理するための費用。主に人件費

## 修正案を出すことにしたのは誰？

私を含め10人の議員で構成する「まちづくり勉強会」です。

※勉強会は様々なテーマを取り扱っており、推進隊ばかりを取り扱っているわけではありません。

これまでに複数回、推進隊関係者からのヒアリングを実施し、活動を深く知るよう努めてきました。

## 参考までに

合併以後、三豊市議会において修正案が可決されたことは一度もありません。

予算案が完璧だったのかといえばそうではなく、一部不満はあるものの、修正案を出すほどの根拠を示すのは大変だし、全体を否決すると市の事業実施に支障が出るからというのが理由でしょう。

これでは議会が市の追認機関であると揶揄されるのも仕方ありません。

私が目指すのは、熟議の上、積極的に修正案を提出する議会であり、そのため勉強会であると考えています。



## 審査結果は？

残念ながら、修正案は否決されました。修正案が諮られたのは、議長を除く21人の議員で構成する「予算特別委員会」においてです。

提案理由の説明、提案者への質疑、賛成・反対の討論が行われ、続いて委員長を除く20人で採決が行われました。（可否同数の場合は



委員長が決する）

結果は、賛成9、反対10、退席1の反対多数で否決となりました。残念なことに、勉強会のメンバーが委員長の役についていたことが仇となってしまいました。

## なぜ否決されたのか？

反対討論を聞きましたが、決して納得できるものではありませんでした。修正案を出すのなら、市長不信任案を出せという、理解し難い意見もありました。

予算特別委員会映像  
（38分頃から修正動議）



## 取り組みを振り返って

求める結果には至りませんでした。当初予算案に対する修正動議を取り扱うのは、三豊市議会としては初めてのことであり、私はいくつと、修正案の作成に携わった上、予算特別委員会副委員長として委員会運営に関わったことから、大きな学びを得ました。三豊市議会にとっても、個人の議員活動にとってもプラスになることは間違いありません。

まちづくり推進隊の皆様にもしっかりと経緯を説明し、ご理解いただけるよう努めてまいります。



令和5年  
12月

一般  
質問

### ①公共施設オンライン予約システムを早期導入せよ

「観音寺市の体育館はオンライン予約できるのに！」との声が、三豊市民から多く寄せられました。スマホから予約・キャンセル・支払いがしたいと考えるのは、現代人であれば当然の感覚です。



なんでも7町分あって、近隣の住民が占用できていた公共施設は、今後管理コスト削減のために減っていきます。限られた施設を共用する上で、オンライン予約システムの整備は必須です。

### ②讃岐造船跡地にファイト・レメディエーション実験区画を

オランダ、アムステルダムにある「デ・クーヴェル」の事例を参考に、土壌汚染浄化実験を計画することを提案しました。土壌汚染の可能性があり、土壌汚染対策法の制限を受け続けることになる同区画をより有効に活用するための手段として必要なことであり、視察ツアーを呼び込む効果も期待できるものです。答弁は、「取り組めるものであるか研究したい」

▼動画で見る



### ③ゆめタウン三豊の期日前投票所が今後開設されないのはなぜ？

提案の結果採用されたものであったため、説明を求めました。

2種類以上の国政選挙において必要なスペースを店舗内に安定的に確保することができないこと、屋外に開設する場合はテントを設置することになるが、暴風時においても選挙人に周知した投票所を閉鎖することができないなどの理由により、選挙管理委員会として決定したとのことでした。



令和6年  
3月

代表  
質問



▼動画で見る



### 会派桜の木を代表して質問しました

- ①ベーシックインフラ構想の課題と解決策
- ②地域全体のデジタル活用力を向上せよ
- ③学習 ICT 整備事業の成功イメージは？
- ④みとよ市民病院の改善について
- ⑤二地域居住の促進について



● 質問・感想・相談 ●

田中たつや Webサイト

<https://tt.mitoyoshi.com>  
Email [tt@mitoyoshi.com](mailto:tt@mitoyoshi.com)

田中たつや事務所

三豊市詫間町詫間 3913-1  
TEL 090-1004-4745

TT通信を読んで下さる方へ

TT通信は、郵送・ポスティング等を行っておりますが、毎回全ての方々にお届けするのは難しい状況です。購読ご希望の方は田中たつやWebサイト、メール、お電話で是非お申し込みください。ポスティングのお手伝いをしていただける方も、随時募集しております。



公式サイト



後援会入会



TT通信申込



## 知っていますか？

TNR  
活動

野良猫を捕まえて (Trap)  
不妊・去勢手術し (Neuter)  
元の場所に返す (Return)



殺処分される猫を少しでも減らすために、野良猫を捕まえ、不妊手術を行う活動です。三豊市では「愛され猫育成プロジェクト」として、クラウドファンディングで資金を集め、手術費の補助が行われています。ボランティアを募集している方の努力を、不妊手術専用車両が三豊市にも来てくれるようになりました。より良い支援が行われるようお手伝いしていきます。